

第10回日本画公募展 前田青邨記念大賞 表彰式を開催します

第10回日本画公募展 前田青邨記念大賞の大賞、特別賞、奨励賞を含めた
入選作品計40作品が決定しましたので、表彰式を開催します。

■日時 令和7年10月4日（土曜日）13時30分から14時30分

■場所 中津川市ひと・まちテラス1階 小上がり前（中津川市新町2-34）

■内容 ・開式

・主催者あいさつ 中津川市長 小栗 仁志

・来賓あいさつ 中津川市議会議員 議長 島崎 保人 氏

・審査員紹介 ※出席は古川 秀昭審査員のみ

・表彰 青邨記念大賞（1点賞金100万円） 瀬山 由起子 氏

青邨記念特別賞（1点賞金20万円） 宮城 教人 氏（※1）

審査員特別賞（1点賞金20万円） 開藤 菜々子 氏 ※欠席

奨励賞（5点賞金3万円） 田畑 奈那子 氏

平野 義文 氏

張 淑楨 氏

上岡 奈苗 氏 ※欠席

池田 汐雪 氏

入選 31人 森下 希和子 氏 ※代表受領

・受賞者あいさつ 青邨記念大賞、青邨記念特別賞、奨励賞 合計6人

・審査員総評

・閉式（表彰式後は、古川 秀昭審査員による講評会を開催します。）

（※1）同一作者の作品で2点合わせて1点として青邨記念特別賞を受賞

■概要 ・応募数160点（出品数145点）※中津川市在住者からは6点応募、うち入選1点

・令和7年8月6日に審査会を行い、入選作品を決定。

・大賞は、中津川市に帰属し、市内施設で展示。

■審査員〔敬称略〕

・宮廻 正明（みやさこ まさあき）日本画家、東京藝術大学名誉教授

・古川 秀昭（ふるかわ ひであき）画家、OKBギャラリーおおがき館長、前岐阜県美術館館長

・吉田 俊英（よしだ としひで）美術史家、前四日市市立博物館館長

・藤井 智美（ふじい さとみ）日本画家

■主催 中津川市、中津川市教育委員会

後援 岐阜県、岐阜県教育委員会、中津川市美術家協会、（一社）中津川市文化協会

お問い合わせ先

文化スポーツ部 文化課 文化係 担当者：入曾

電話：0573-66-1111（内線4318）

第10回前田青邨記念大賞 入賞作品一覧

■青邨記念大賞

氏名：瀬山 由起子（せやま ゆきこ）

題名：夏の果（なつのはて）

住所：大阪府豊能町

【作品についての作者コメント】

庭に蒔いた一粒の種から大きく育った向日葵。庭で羽化して成虫になった雌雄のツマグロヒョウモン。それらと共に生きている自分。生を謳歌した時は短く、やがて全ての生き物は死へと向かっていく。枯れた向日葵の姿を人に重ねることは多く見られると思うが、まだかろうじて生命を繋いでいるものから放出される、残された生命の気のようなものを、黒と白を対比させ、流動的なマチエールを使って表現してみた。



■青邨記念特別賞

氏名：宮城 教人（みやぎ きょうと）

題名：夜に想う（よるにおもう）

Lifhack（ライフハック）

住所：兵庫県尼崎市

【作品についての作者コメント】

生活の中から湧き出るような作品を描きたいと常々考えている。

「Lifhack」は、週に一回のアイロンがけの風景。1週間分のシャツにアイロンをかけるのは、社会と自分とをつなぐ行為だ。面倒でもリズムよく朗らかに。

「夜に想う」は、夜中に起きてトイレに向かう道中。机が夜の灯に照らされている。籠の中の鳥は私自身かもしれない。

雰囲気異なる2作品ではあるが、どちらも愛おしい小さな生活を題材に、造形し、展開した作品である。



夜に想う



Lifhack

※同一作者の作品で2点合わせて青邨記念特別賞を受賞。

■審査員特別賞

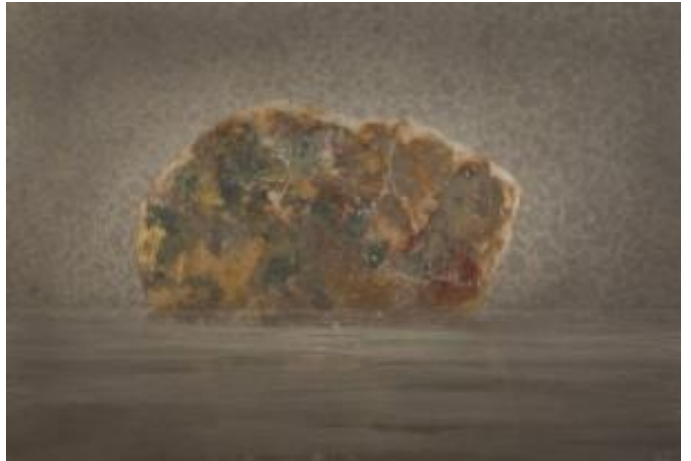
氏名：開藤 菜々子（かいとう ななこ）

題名：しゅはり 7月17日（しゅはり なながつじゅうななにち）

住所：大阪府大阪市

【作品についての作者コメント】

身近な石をモチーフにして風化していくものの美しさを表現したいと思っています。石を見ながら石の中の色味や表情を想像し、その表現のために銀箔を使用しており、石の表面のキズや色の変化を金箔で繋いでいきながら点から線描へと表現しています。様々な箔を使用するのは時の経過で少しずつ箔が変化していくことも含めて作品にしているためです。作品とともに時を刻んでいきたいという思いを込めて制作しています。



■奨励賞①

氏名：田畑 奈那子（たばた ななこ）

題名：どのみち（どのみち）

住所：沖縄県那覇市

【作品についての作者コメント】

行き先がわからない時でも、色とりどりの道は面白いだろうと思いながら制作しました。上を向いたり奥を見たり歩き回ってみたり…。その場所を楽しむうちに、気になる地点が出てきてまた新しい風景が生まれてくると思います。



■奨励賞②

氏名：平野 義文（ひらの よしふみ）

題名：森のかがやき（もりのかがやき）

住所：岐阜県関市

【作品についての作者コメント】

私の住む街、関市は自然に恵まれた地です。一步田舎へ入ると美しい山、川と田園が飛び込んできます。その山合いと長良川の支流板取川に囲まれた町に板取があります。私はその杉林が好きです。また雪の降る杉林も好きです。そこへ光が差し込む一瞬を捉えて表現しました。



■奨励賞③

氏名：張 淑楨（ちょう しゅくてい）

題名：造物者⑥（ぞうぶつしゃ ろく）

住所：神奈川県相模原市

【作品についての作者コメント】

静謐な大地、遙かな時を超えて佇む縄文の土偶、花鳥のさえずりに包まれ、遠古の記憶に耳を澄ます人々、優しさと神秘を呼び覚ます。その光景は時の流れと生命の継承を感じさせ、まるで千年の時を超えて祖先と対話しているかのように制作しました。



■奨励賞④

氏名：上岡 奈苗（かみおか ななえ）

題名：聲（こえ）

住所：三重県伊賀市

【作品についての作者コメント】

卵より孵し、大切に育てた鶏と共に過ごす日々の中で、畜産動物の存在をこれまで以上に身近に感じるようになりました。

数多の命を頂きながら生きていることは知ってはいても、その命は当たり前前に食事として消費され、やがてその尊さへの思いは日々の慌ただしさの中に埋もれてしまうのでしょうか。



■奨励賞⑤

氏名：池田 汐雪（いけだ ゆうせつ）

題名：秋の調べ（あきのしらべ）

住所：神奈川県川崎市

【作品についての作者コメント】

流れるような曲線を描きながら伸びる枝と、リズムカルに生えた葉の移ろいゆく色彩が、まるで旋律のようでした。

サルスベリが、熟した実を食べに来たメジロと共に、秋の音楽を奏でているような光景です。

